

令和4年長崎市観光統計

【確報版】

長 崎 市

・訪問客数

長崎市への訪問客数は、長崎市が地理的に西の端に位置することに鑑み、長崎市を通過して他都市へ移動する者が少ないと推測し、交通機関別の入込客数に基づき作成している。

長崎市への入込交通機関として、鉄道、自動車、船舶及び長崎空港に到着する航空機を加え、各交通機関別の入込客数を基に、月ごとの訪問客割合を考慮して推計している。

ただし、令和2年以降における訪問客割合は新型コロナウイルス感染症の影響を加味して推計している。

※長崎市は、国内観光のみならず、インバウンドやMICE、スポーツ、文化など多様な目的を持つ訪問客から選ばれるまちを目指していることから、令和4年観光統計から従来の「観光客数」の表記を「訪問客数」へ変更する。

・宿泊客数・日帰り客数

宿泊客数は市内主要宿泊施設における宿泊客数実績の前年比伸び率を基に推計しており、日帰り客数については全体の訪問客数から宿泊客数を減じて算出している。

ただし、令和2年以降における宿泊数および日帰り客数は新型コロナウイルス感染症の影響を加味して推計している。

・個人客数・団体客数(一般・学生)

団体客数(学生)は、令和元年の団体客数(学生)に市内主要観光施設における団体客数(学生)の令和元年から令和4年の伸び率を乗じることで推計しており、団体客数(一般)は、訪問客数に長崎市日本人観光客動向調査の旅行形態内の団体旅行の割合を乗じて推計している。また、個人客数については全体の訪問客数から団体客数を減じて算出している。

・外国人延べ宿泊客数(国・地域別)

市内宿泊施設における外国人宿泊客数実績に基づき推計している。

・MICE統計(MICE件数・MICE参加人員)

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会において、MICE受入施設への聞き取り調査等に基づき算出している。

・観光消費額・経済波及効果

一般訪問客の観光消費額は、観光動向調査により算出した宿泊・日帰り別／一般・学生別の1人当たり観光消費単価を3か年平均して、宿泊・日帰り別／一般・学生別の訪問客数に乗じて算出している。

学生訪問客の観光消費額は、「教育旅行年報」(日本修学旅行協会発行)における調査データを元に宿泊・日帰り別の観光消費単価を設定し、宿泊・日帰り別の訪問客数に乗じて算出している。

目 次

1	令和4年の観光動向	1
2	観光統計総括表	5
3	訪問客数・観光消費額の推移	6
4	月別訪問客数	8
5	宿泊客・日帰り客の推移	9
6	個人客・団体客の推移	10
7	交通機関別訪問客数の推移	11
8	クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数	12
9	外国人延べ宿泊者数の推移	14
10	国・地域別外国人延べ宿泊者数	15
11	MICE統計	17
12	経済波及効果	21
— 参考資料 —		
1	訪問客数の推移	23
2	主要観光施設の入場者数	24
3	主要イベントの集客数及び経済波及効果	24
4	宿泊施設の状況	25

1 令和4年の観光動向

(1) 全国の観光動向

日本人国内旅行消費額			
17兆1,929億円	前年比87.2%増	(8兆94億円増)	
① 宿泊旅行	13兆7,559億円	前年比96.7%増	(6兆7,634億円増)
② 日帰り旅行	3兆4,370億円	前年比56.9%増	(1兆2,460億円増)
日本人国内延べ旅行者数			
4億1,785万人	前年比55.8%増	(1億4,964万人増)	
① 宿泊旅行	2億3,247万人	前年比64.0%増	(9,070万人増)
② 日帰り旅行	1億8,539万人	前年比46.6%増	(5,895万人増)
日本人国内旅行1人あたり旅行単価			
41,146円	前年比20.2%増	(6,906円増)	
① 宿泊旅行	59,174円	前年比20.0%増	(9,851円増)
② 日帰り旅行	18,540円	前年比7.0%増	(1,212円増)

日本人の国内旅行消費額は、前年比87.2%増(8兆94億円増)の17兆1,929億円であった。日本人の国内延べ旅行者数は、宿泊旅行が前年比64.0%増(9,070万人増)の2億3,247万人、日帰り旅行が前年比46.6%増(5,895万人増)の1億8,539万人で、全体として前年比55.8%増(1億4,964万人増)の4億1,785万人となり、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行単価は前年比20.2%増(6,906円増)の41,146円となった。

(出典)観光庁「旅行・観光消費動向調査」2022年年間値(確報)

訪日外客数	
383万1,900人	前年比1,458.6%増(約359万人増)

令和4年に日本を訪れた外国人(訪日外客数)は、前年比1,458.6%増(約359万人増)の383万1,900人と激増した。令和2年以降新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてきたが、6月10日より観光目的の入国受入れ再開や段階的な水際措置の緩和がなされ、特に、本格的な受け入れ再開を行った10月以降顕著な回復傾向が見られることとなった。

(出典)日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数(2022年12月および年間推計値)」

外国人延べ宿泊者数

1,676万人泊 前年比288.2%増(約1,244万人泊増)

外国人延べ宿泊者数は、前年比288.2%増(約1,244万人泊増)の1,676万人となった。

また、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位がアメリカ(約201万人泊、シェア14.8%)、第2位以下は韓国(約196万人泊、シェア14.3%)、中国(約99万人泊、シェア7.3%)、台湾(約90万人泊、シェア6.6%)、香港(約88万人泊、シェア6.4%)と続き、上位5か国・地域で全体の約49.4%を占める。

※国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、従業者数10人以上の施設に対する調査から作成されており、全体で1,365万8,830人泊となっている。

(出典)観光庁「宿泊旅行統計調査(令和4年年間値(速報))」

訪日外国人旅行消費額

8,987億円 前年比644%増(7,779億円増)

訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出

23万4,524円 前々年比26.5%増(4万9,111円増)

令和元年比47.9%増(7万5,993円増)

※前年は算出されていないため、比較無し

訪日外国人の旅行消費額は前年比644%増(7,779億円増)の8,987億円と大幅に増加したが、1人当たりの旅行支出は23万4,524円となった。

国籍・地域別の旅行消費額では、韓国が最も高く(1,352億円、シェア15.0%)、次いで中国(1,092億円、シェア12.1%)、アメリカ(959億円、シェア10.7%)、香港(762億円、シェア8.5%)、台湾(759億円、シェア8.4%)の順となっており、上位5か国・地域で全体の54.7%を占める。

※ 例年算出される国籍別訪日外国人1人当たり旅行支出に関しては、今回算出されていない。

(出典)観光庁「2022年の訪日外国人旅行消費額(試算値)」

(2) 長崎市の観光動向

訪問客数			
404万8,800人	前年比56.6%増	(146万3,100人増)	
① 宿泊客数	176万8,400人	前年比 54.8%増	(62万6,000人増)
日帰り客数	228万400人	前年比 58.0%増	(83万7,100人増)
② 個人客数	345万7,000人	前年比 51.8%増	(117万9,800人増)
団体客数	59万1,800人	前年比 91.8%増	(28万3,300人増)
〔一般団体客数	28万3,400人	前年比213.1%増	(19万2,900人増)
〔学生団体客数(修学旅行生)	30万8,400人	前年比 41.5%増	(9万400人増)
外国人延べ宿泊客数			
3万9,571人泊	前年比181.7%増	(2万5,522人泊増)	
クルーズ客船入港数、乗客・乗務員数			
入港数	0隻	前年比100%減	(1隻減)
乗客・乗務員数	0人	前年比100%減	(547人減)
国内クルーズ船	入港数	0隻	前年比100%減 (1隻減)
	乗客・乗務員数	0人	前年比100%減 (547人減)
国際クルーズ船	入港数	0隻	前年比- (-隻減)
	乗客・乗務員数	0人	前年比- (-人減)

観光消費額			
1,037億4,175万円	前年比 68.5%増	(約422億円増)	
経済波及効果(長崎県内)			
1,558億円	前年比 71.8%増	(約651億円増)	
訪問客1人あたり市内観光消費額			
平均	25,623円	前年比 7.6%増	(1,818円増)
宿泊客	37,726円	前年比 5.2%増	(1,878円増)
日帰り客	16,237円	前年比 13.8%増	(1,965円増)

令和4年の長崎市の訪問客数は前年比56.6%増(146万3,100人増)の404万8,800人となった。
このうち日帰り客数は前年比58%増(83万7,100人増)の228万400人、宿泊客数は前年比54.8%増(62万6,000人増)の176万8,400人となった。

また、旅行形態別にみると、個人客数が前年比51.8%増(117万9,800人増)の345万7,000人、団体客数が前年比91.8%増(28万3,300人増)の59万1,800人となった。

外国人延べ宿泊客数については、前年比181.7%増(2万5,522人泊増)の3万9,571人泊となり、前年を上回る結果となった。

令和4年の観光消費額は、前年比約68.5%増(約422億円増)の1,037億4,175万円で前年を上回った。また、長崎県内への経済波及効果については、前年比71.8%増(651億円増)の1,558億円となった。

以上の観光動向に影響を与えた要因を以下のとおり分析した。

【増の要因】

▪ 全国的な宿泊割引キャンペーンの実施

新型コロナウイルス感染症拡大により、失われた旅行需要の喚起を図るため、長崎県が実施していた宿泊助成の「ふるさとで“心呼吸”の旅」は、令和4年4月11日から対象を九州各県に拡大し、さらには、令和4年10月11日から「ながさきで心呼吸の旅キャンペーン」として対象が全国となった。本キャンペーンの対象月である令和4年11月および12月の月別訪問客数は、令和元年比で両月とも9割弱まで回復し、当該感染症の影響を受ける県内観光産業の回復を図った。

▪ 移動制限の緩和

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年以降、人流の抑制や全国的な自粛などが行われていたが、令和4年はGWなどの大型連休や盆において、3年振りに移動制限が無い年となった。

▪ 西九州新幹線開業

令和4年9月23日に長崎、武雄温泉間に西九州新幹線が開業し、開業から3か月間で約61万9千人が利用し、在来線特急の利用者数と比較して、対前年比で196%、平成30年比で105%の乗車率となった。

【その他の要因】

▪ まん延防止等重点措置による施設閉館

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和4年1月21日から3月6日まで、長崎市にまん延防止等重点措置が適用されたことに伴い、同年1月21日から2月21日までの間、長崎市所有の観光施設等の閉館が余儀なくされた。

▪ 外国人訪問客への水際対策の緩和措置

日本政府は、令和4年10月11日から、外国人の新規入国制限の見直しに基づき、外国人訪問客の入国については、個人旅行の解禁など、規制緩和措置を取られ、長崎市における外国人延べ宿泊客数においても、回復傾向が見受けられる。

2 観光統計総括表

【単位：人、億円、％】

		令和3年	令和4年		
			構成比	前年比増減	
訪問客数		2,585,700	4,048,800	100.0	56.6
宿泊の有無別	宿泊客数	1,142,400	1,768,400	43.7	54.8
	日帰り客数	1,443,300	2,280,400	56.3	58.0
旅行形態別	個人客数	2,277,200	3,457,000	85.4	51.8
	団体客数	308,500	591,800	14.6	91.8
	一般	90,500	283,400	7.0	213.1
	学生	218,000	308,400	7.6	41.5
交通機関別	J R	556,600	853,800	21.1	53.4
	自動車	1,625,200	2,582,000	63.7	58.9
	船舶	69,800	107,700	2.7	54.3
	航空機	334,100	505,300	12.5	51.2
観光消費額		616	1,037		68.5
経済波及効果		907	1,558		71.8

3 訪問客数・観光消費額の推移

【単位：人、千円、％】

年	訪問客数	前年比増減		観光消費額	前年比増減	
平成20年	5,559,500	▲ 81,400	▲ 1.4	75,890,453	▲ 1,531,602	▲ 2.0
平成21年	5,585,600	26,100	0.5	75,101,615	▲ 788,838	▲ 1.0
平成22年	6,108,300	522,700	9.4	110,880,935	35,779,320	47.6
平成23年	5,944,700	▲163,600	▲ 2.7	109,766,697	▲ 1,114,238	▲ 1.0
平成24年	5,952,900	8,200	0.1	115,446,919	5,680,222	5.2
平成25年	6,078,000	125,100	2.1	120,320,106	4,873,187	4.2
平成26年	6,306,800	228,800	3.8	124,323,000	4,002,894	3.3
平成27年	6,693,800	387,000	6.1	136,834,458	12,511,458	10.1
平成28年	6,723,500	29,700	0.4	131,378,500	▲5,455,958	▲ 4.0
平成29年	7,077,700	354,200	5.3	145,846,150	14,467,650	11.0
平成30年	7,055,400	▲ 22,300	▲ 0.3	149,689,454	3,843,304	2.6
令和元年	6,917,800	▲137,600	▲ 2.0	149,189,702	▲ 499,752	▲ 0.3
令和2年	2,560,600	▲4,357,200	▲63.0	61,066,048	▲88,123,654	▲59.1
令和3年	2,585,700	25,100	1.0	61,551,969	485,921	0.8
令和4年	4,048,800	1,463,100	56.6	103,741,749	42,189,780	68.5

※ 観光消費額は、平成22年から次のとおり基礎数値を見直して算定している。

(旧)平成12年度の一泊宿泊時の平均消費額 (新)連泊を考慮した宿泊客全体の平均消費額

図1 訪問客数・観光消費額の推移

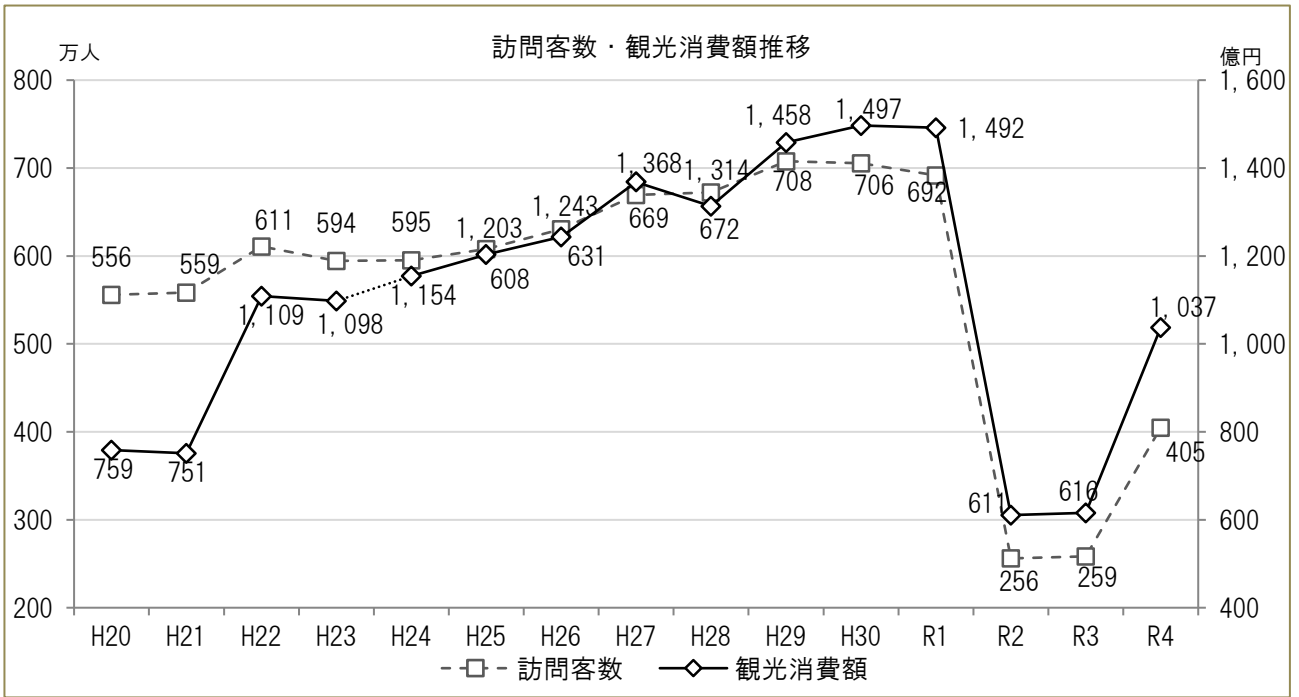
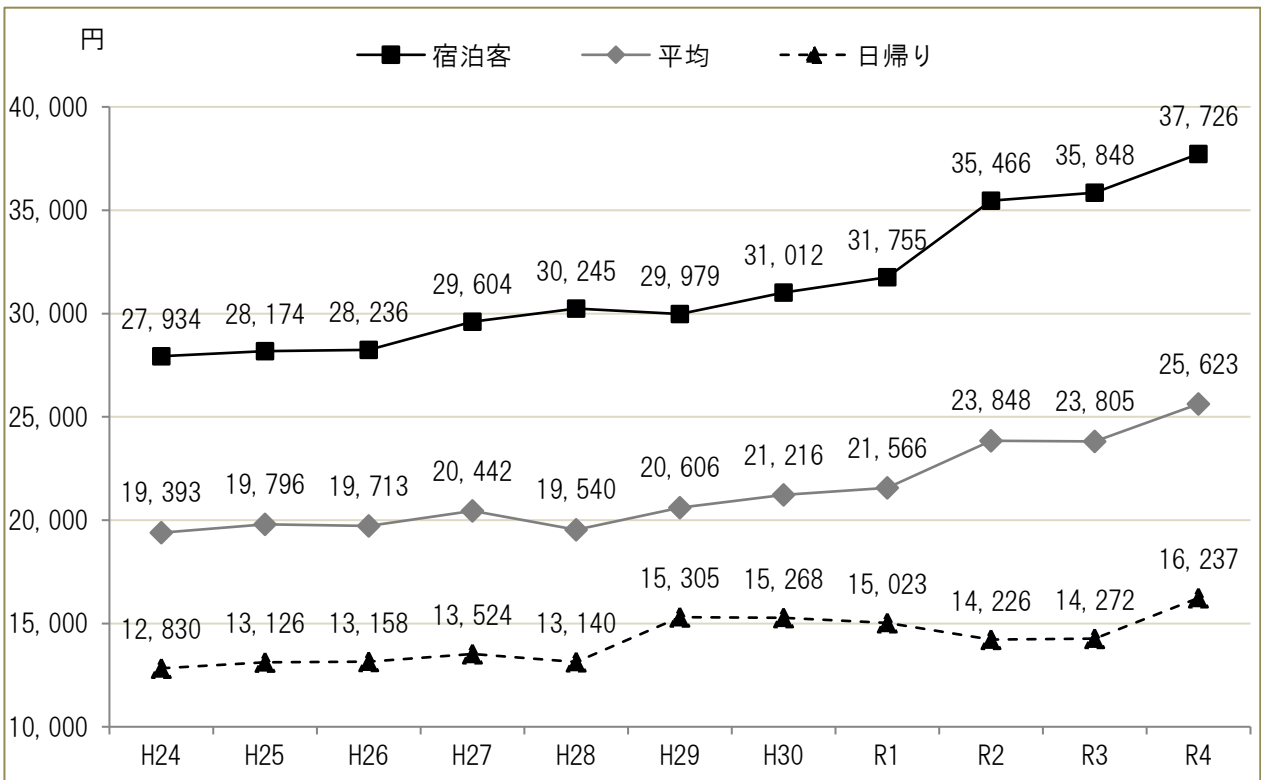


図2 平均観光消費単価の推移

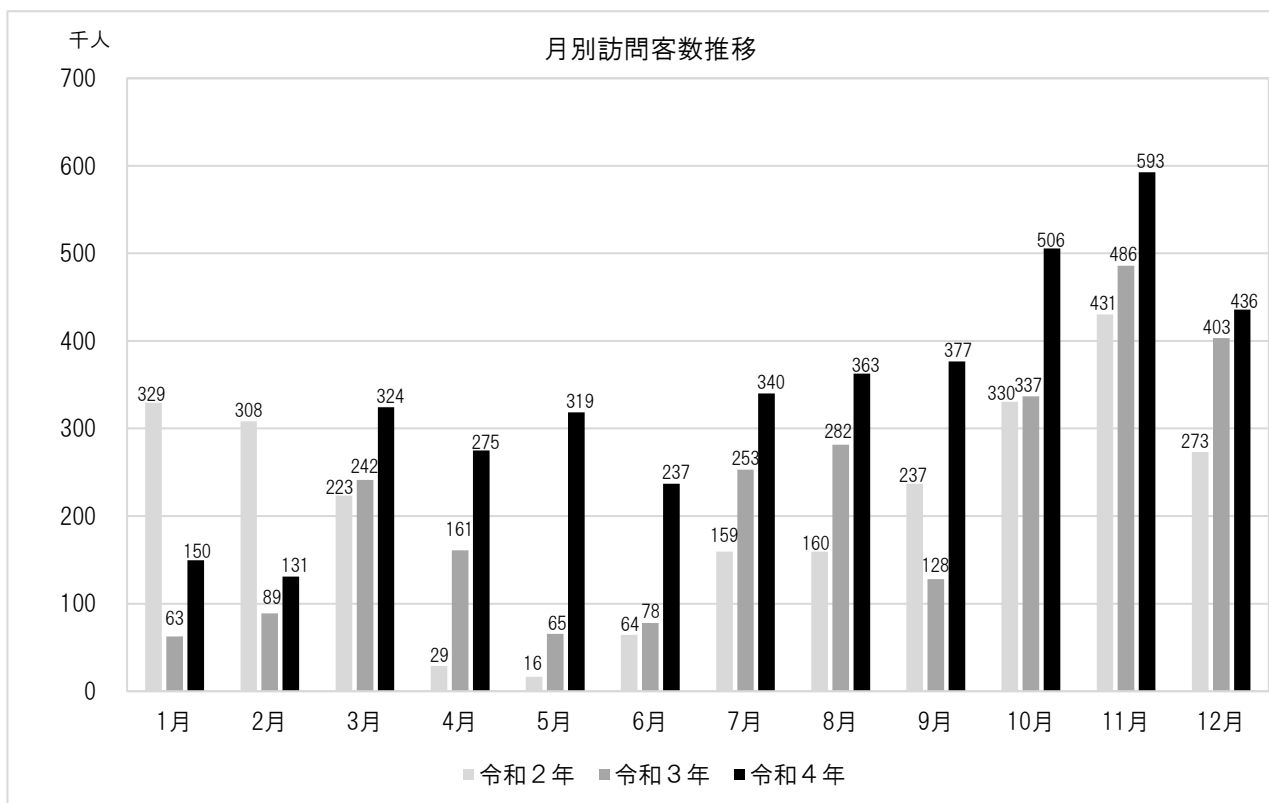


4 月別訪問客数

【単位：人、％】

月	令和2年	令和3年	令和4年	構成比	
				構成比	前年比増減
1月	329,300	62,700	149,600	3.7	138.6
2月	308,400	88,900	130,800	3.2	47.1
3月	223,300	241,500	324,300	8.0	34.3
4月	29,000	161,000	275,100	6.8	70.9
5月	16,400	65,300	318,500	7.9	387.7
6月	64,300	77,800	237,000	5.9	204.6
7月	159,300	252,900	340,100	8.4	34.5
8月	159,600	281,500	362,600	9.0	28.8
9月	236,800	128,000	376,700	9.3	194.3
10月	330,400	336,900	505,700	12.4	50.1
11月	430,500	485,900	592,500	14.6	21.9
12月	273,300	403,300	435,900	10.8	8.1
計	2,560,600	2,585,700	4,048,800	100.0	56.6

図3 月別訪問客数の推移

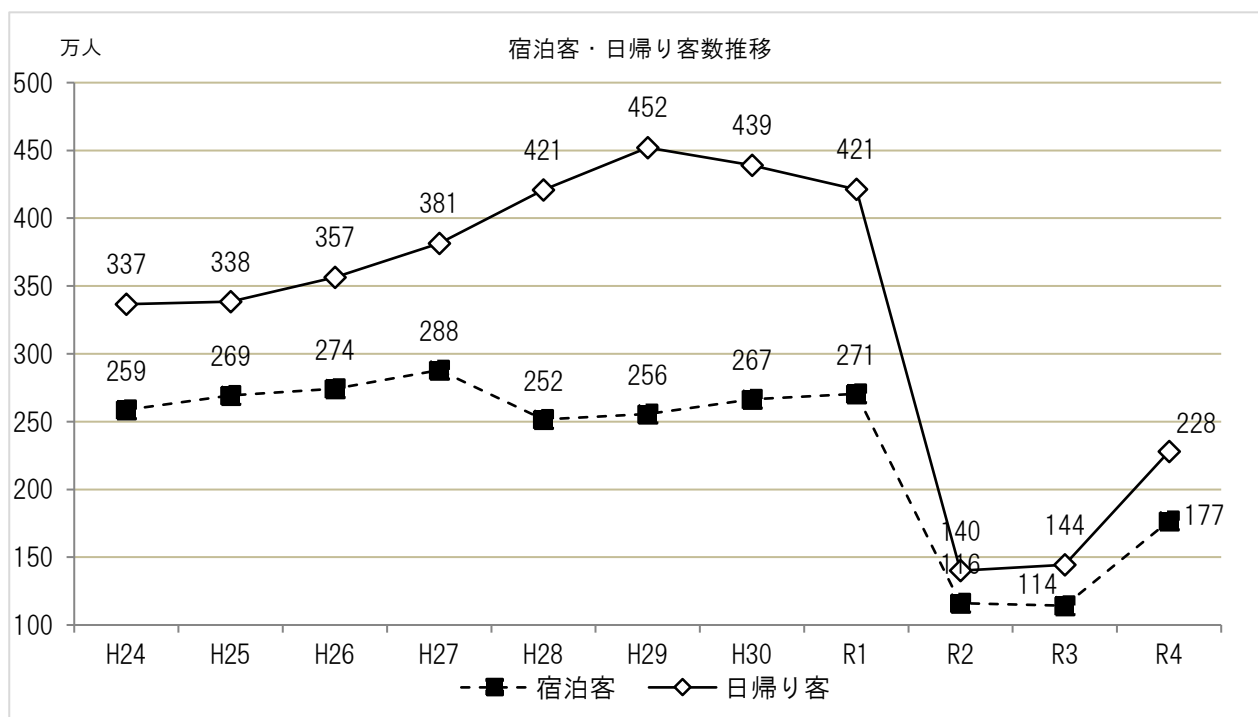


5 宿泊客・日帰り客の推移

【単位：人、％】

年	宿泊客			日帰り客		
	人数	構成比	前年比増減	人数	構成比	前年比増減
平成20年	2,460,100	44.3	▲2.4	3,099,400	55.7	▲0.6
平成21年	2,401,700	43.0	▲2.4	3,183,900	57.0	2.7
平成22年	2,557,700	41.9	6.5	3,550,600	58.1	11.5
平成23年	2,529,300	42.5	▲1.1	3,415,400	57.5	▲3.8
平成24年	2,586,800	43.5	2.3	3,366,100	56.5	▲1.4
平成25年	2,694,100	44.3	4.1	3,383,900	55.7	0.5
平成26年	2,741,500	43.5	1.8	3,565,300	56.5	5.4
平成27年	2,879,800	43.0	5.0	3,814,000	57.0	7.0
平成28年	2,515,700	37.4	▲12.6	4,207,800	62.6	10.3
平成29年	2,556,900	36.1	1.6	4,520,800	63.9	7.4
平成30年	2,665,600	37.8	4.3	4,389,800	62.2	▲2.9
令和元年	2,705,200	39.1	1.5	4,212,600	60.9	▲4.0
令和2年	1,160,000	45.3	▲57.1	1,400,600	54.7	▲66.8
令和3年	1,142,400	44.2	▲1.5	1,443,300	55.8	3.0
令和4年	1,768,400	43.7	54.8	2,280,400	56.3	58.0

図4 宿泊客・日帰り客の推移

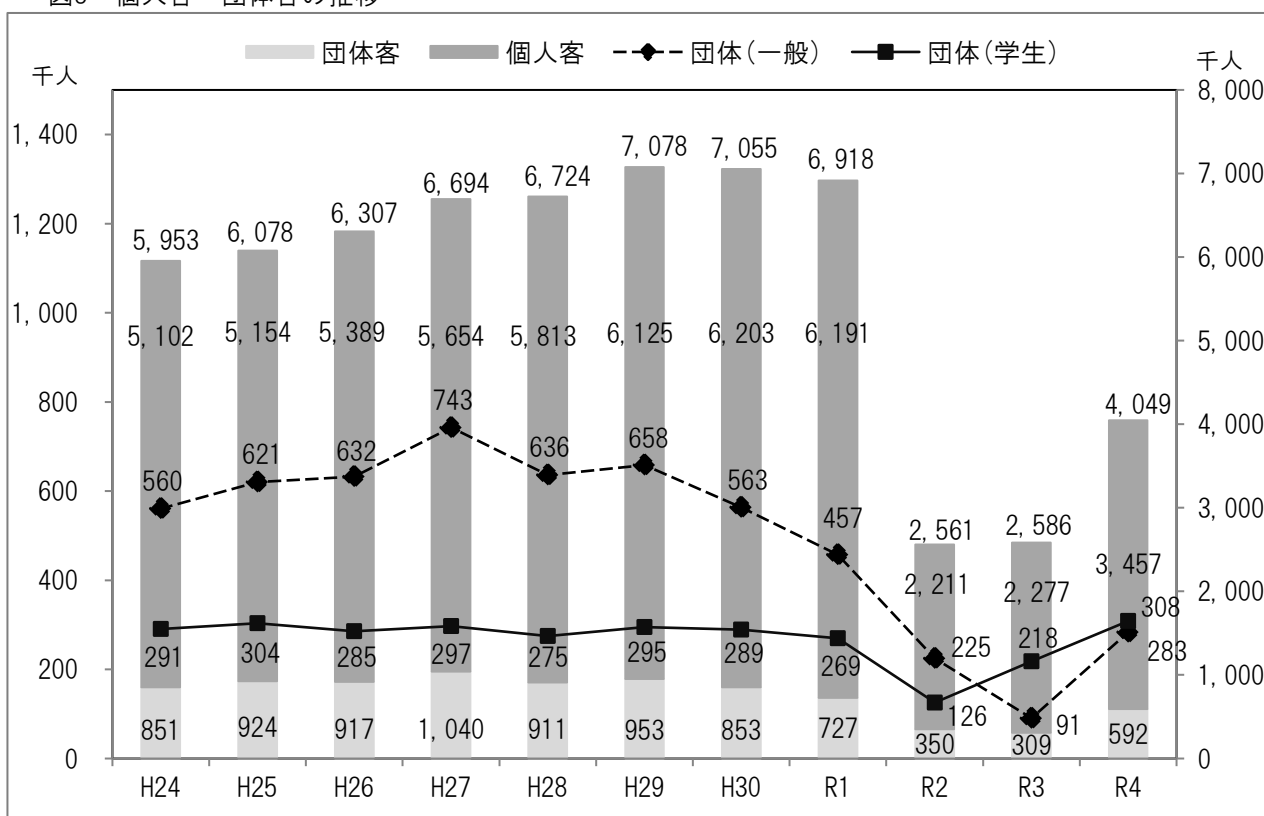


6 個人客・団体客の推移

【単位：人、％】

年	個人客		団体客		一般		学生	
	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減	人数	前年比増減
平成20年	4,779,800	▲1.2	779,700	▲2.8	508,000	▲5.1	271,700	2.0
平成21年	4,863,800	1.8	721,800	▲7.4	430,500	▲15.3	291,300	7.2
平成22年	5,256,900	8.1	851,400	18.0	558,300	29.7	293,100	0.6
平成23年	5,182,900	▲1.4	761,800	▲10.5	434,000	▲22.3	327,800	11.8
平成24年	5,102,100	▲1.6	850,800	11.7	560,300	29.1	290,500	▲11.4
平成25年	5,154,000	1.0	924,000	8.6	620,500	10.7	303,500	4.5
平成26年	5,389,400	4.6	917,400	▲0.7	632,200	1.9	285,200	▲6.0
平成27年	5,653,900	4.9	1,039,900	13.4	742,600	17.5	297,300	4.2
平成28年	5,812,600	2.8	910,900	▲12.4	636,300	▲14.3	274,600	▲7.6
平成29年	6,124,800	5.4	952,900	4.6	658,100	3.4	294,800	7.4
平成30年	6,202,900	1.3	852,500	▲10.5	563,300	▲14.4	289,200	▲1.9
令和元年	6,191,200	▲0.2	726,600	▲14.8	457,200	▲18.8	269,400	▲6.8
令和2年	2,210,500	▲64.3	350,100	▲51.8	224,500	▲50.9	125,600	▲53.4
令和3年	2,277,200	3.0	308,500	▲11.9	90,500	▲59.7	218,000	73.6
令和4年	3,457,000	51.8	591,800	91.8	283,400	213.1	308,400	41.5

図5 個人客・団体客の推移

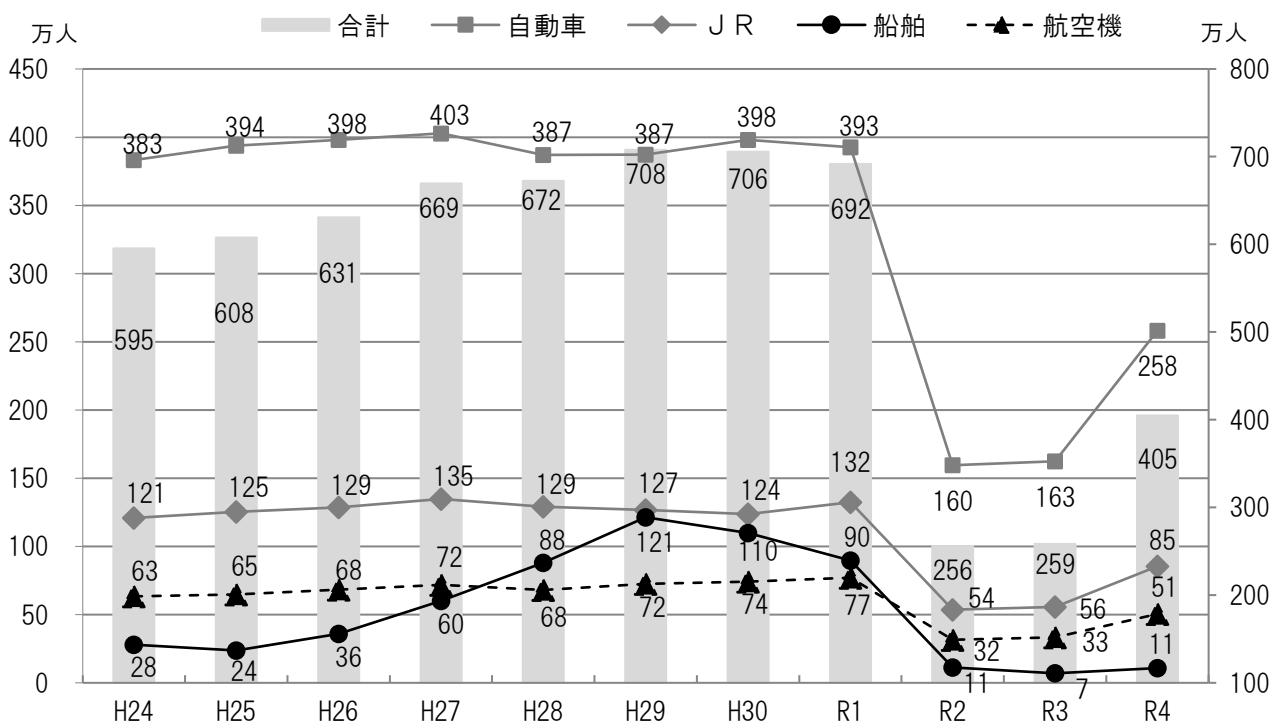


7 交通機関別訪問客数の推移

【単位：人、％】

年	J R		自動車		船舶		航空機	
	訪問客数	前年比増減	訪問客数	前年比増減	訪問客数	前年比増減	訪問客数	前年比増減
平成20年	1,262,500	0.2	3,533,800	▲0.9	191,400	▲12.8	571,800	▲3.9
平成21年	1,191,600	▲5.6	3,639,000	3.0	222,100	16.0	532,900	▲6.8
平成22年	1,260,400	5.8	4,074,700	12.0	242,200	9.0	531,000	▲0.4
平成23年	1,201,900	▲4.6	3,994,900	▲2.0	198,300	▲18.1	549,600	3.5
平成24年	1,207,900	0.5	3,832,000	▲4.1	278,300	40.3	634,700	15.5
平成25年	1,253,900	3.8	3,938,700	2.8	236,500	▲15.0	648,900	2.2
平成26年	1,285,800	2.5	3,979,300	1.0	358,500	51.6	683,200	5.3
平成27年	1,347,700	4.8	4,028,300	1.2	600,600	67.5	717,200	5.0
平成28年	1,291,700	▲4.2	3,870,900	▲3.9	879,200	46.4	681,700	▲4.9
平成29年	1,266,400	▲2.0	3,872,800	0.1	1,213,600	38.0	724,900	6.3
平成30年	1,236,000	▲2.4	3,979,400	2.8	1,098,200	▲9.5	741,800	2.3
令和元年	1,323,300	7.0	3,926,200	▲1.3	897,700	▲18.3	770,600	3.9
令和2年	536,300	▲59.5	1,595,200	▲59.4	113,500	▲87.4	315,600	▲59.0
令和3年	556,600	3.8	1,625,200	1.9	69,800	▲38.5	334,100	5.9
令和4年	853,800	53.4	2,582,000	58.9	107,700	54.3	505,300	51.2

図6 交通機関別訪問客数の推移



8 クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

(1) 国内・国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

	令和2年		令和3年		令和4年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	10隻	45,349	1隻	547	0隻	0	▲100.0

(2) 国内クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

【単位：隻、人、％】

	令和2年		令和3年		令和4年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	0隻	0	1隻	547	0隻	0	▲100.0

(3) 国際クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

① 乗客数

【単位：人、％】

順位	令和2年		令和3年		令和4年		
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	構成比
1	中国	34,331	-	-	-	-	-
2	日本	253	-	-	-	-	-
3	モンゴル	82	-	-	-	-	-
4	アメリカ	71	-	-	-	-	-
5	台湾	41	-	-	-	-	-
-	その他	236	-	-	-	-	-
計	-	35,014	-	-	-	-	-

② 乗務員数

【単位：人、％】

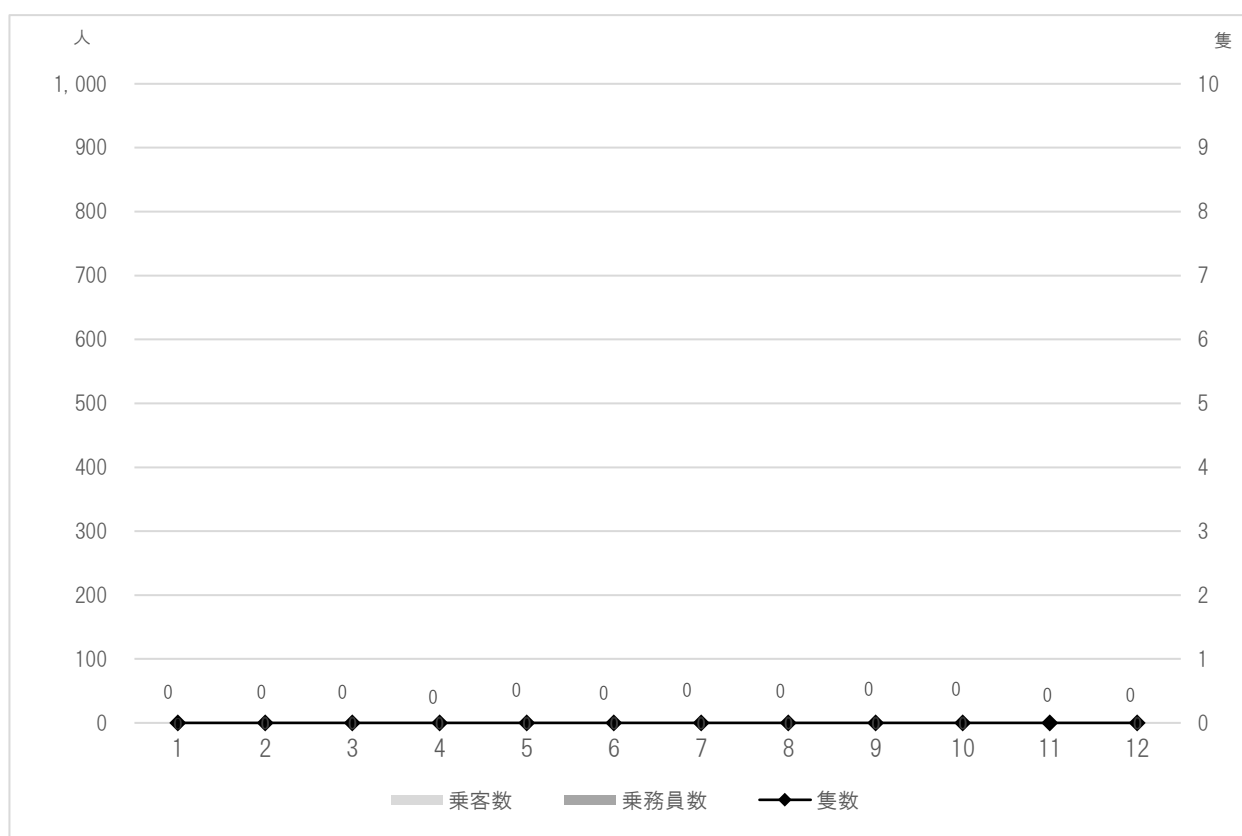
	令和2年		令和3年		令和4年		
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	前年比増減
計	-	10,335	-	0	-	0	-

③ 乗客・乗務員数(①+②)

【単位：隻、人、％】

	令和2年		令和3年		令和4年		
	隻数	推計	隻数	推計	隻数	推計	前年比増減
計	10隻	45,349	0隻	0	0隻	0	-

図7 月別クルーズ客船入港隻数及び乗客・乗務員数

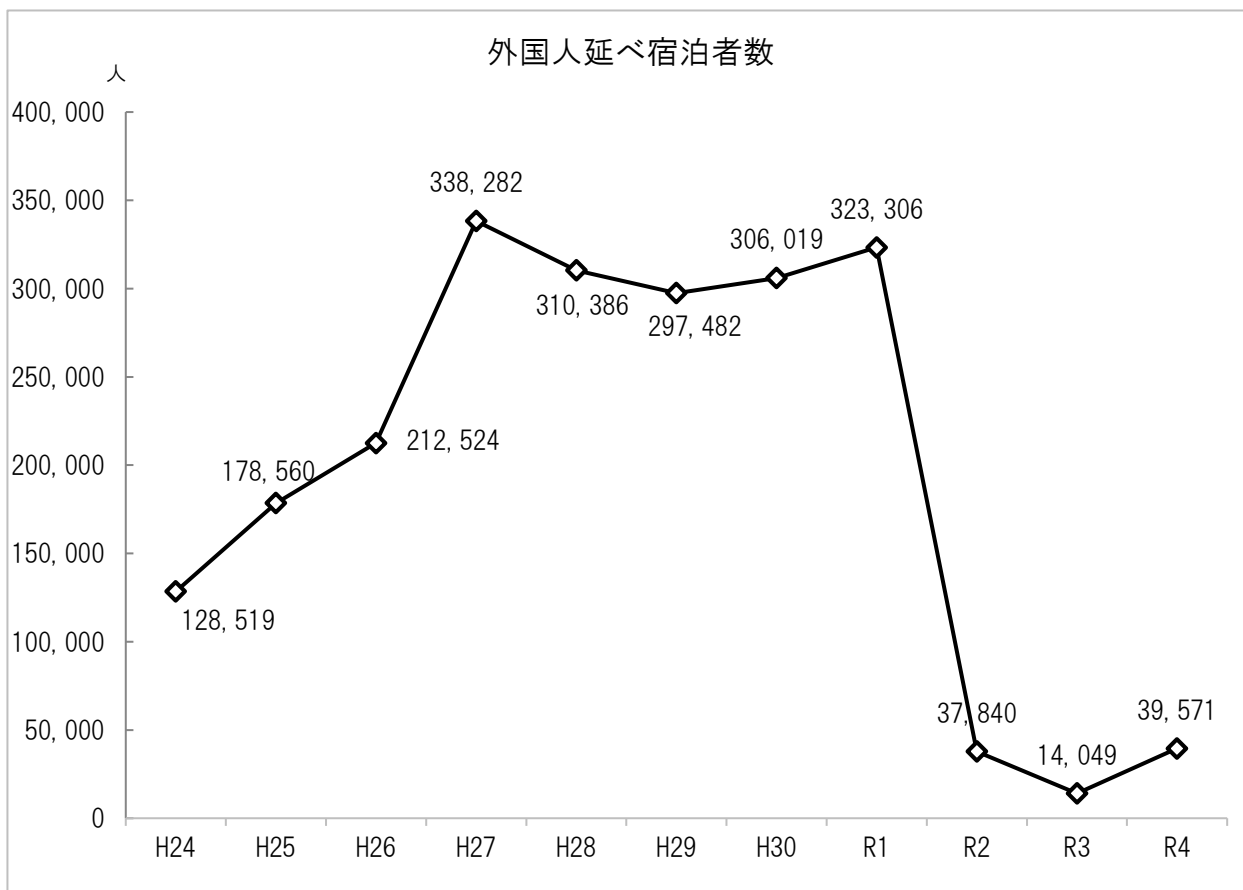


9 外国人延べ宿泊者数の推移

【単位：人泊、％】

年	外国人延べ宿泊者数	前年比増減
平成20年	167,294	0.3
平成21年	163,395	▲ 2.3
平成22年	164,335	0.6
平成23年	116,051	▲29.4
平成24年	128,519	10.7
平成25年	178,560	38.9
平成26年	212,524	19.0
平成27年	338,282	59.2
平成28年	310,386	▲ 8.2
平成29年	297,482	▲ 4.2
平成30年	306,019	2.9
令和元年	323,306	5.6
令和2年	37,840	▲88.3
令和3年	14,049	▲62.9
令和4年	39,571	181.7

図8 外国人延べ宿泊者数の推移

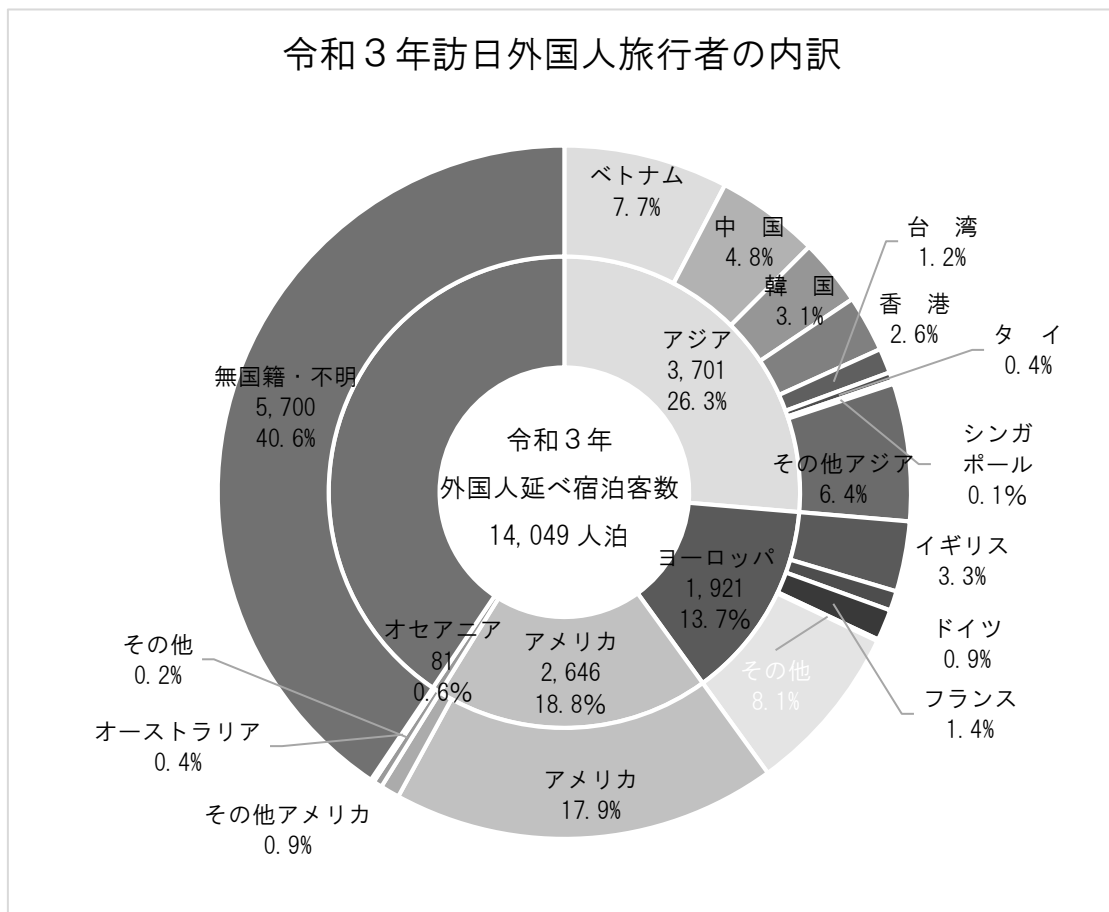
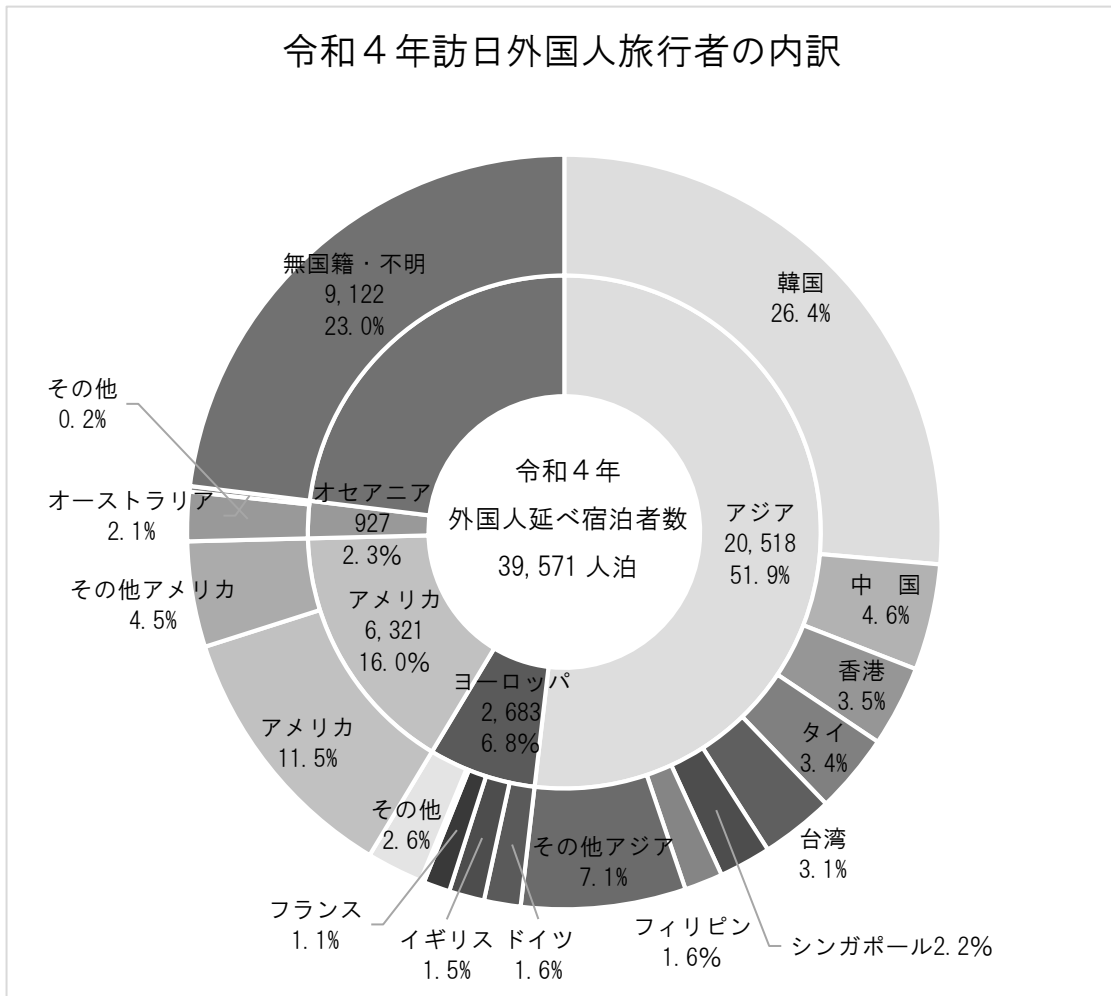


10 国・地域別外国人延べ宿泊者数

【単位：人泊、％】

順位	令和2年		令和3年		令和4年			
	国・地域	推計	国・地域	推計	国・地域	推計	構成比	前年比増減
1	中国	6,682	アメリカ	2,520	韓国	10,435	26.4	2282.4
2	韓国	4,917	ベトナム	1,077	アメリカ	4,531	11.5	79.8
3	香港	4,121	中国	676	中国	1,800	4.6	166.3
4	台湾	3,981	イギリス	460	香港	1,372	3.5	270.8
5	アメリカ	3,255	韓国	438	タイ	1,351	3.4	2270.2
6	インドネシア	958	香港	370	台湾	1,238	3.1	664.2
7	フィリピン	905	フィリピン	279	シンガポール	881	2.2	4095.2
8	イギリス	800	フランス	203	ブラジル	848	2.1	2550.0
9	オーストラリア	794	台湾	162	オーストラリア	833	2.1	1336.2
10	マレーシア	739	ドイツ	129	フィリピン	649	1.6	132.6
11	ドイツ	635	インドネシア	86	ドイツ	621	1.6	381.4
12	シンガポール	584	オーストラリア	58	イギリス	600	1.5	30.4
13	タイ	557	タイ	57	ベトナム	540	1.4	▲49.9
14	ベトナム	530	マレーシア	43	フランス	448	1.1	120.7
15	フランス	456	インド	43	マレーシア	418	1.1	872.1
-	その他	7,926	その他	7,448	その他	13,006	32.8	74.6
計		37,840		14,049		39,571	100.0	181.7

図9 国・地域別外国人延べ宿泊者数構成



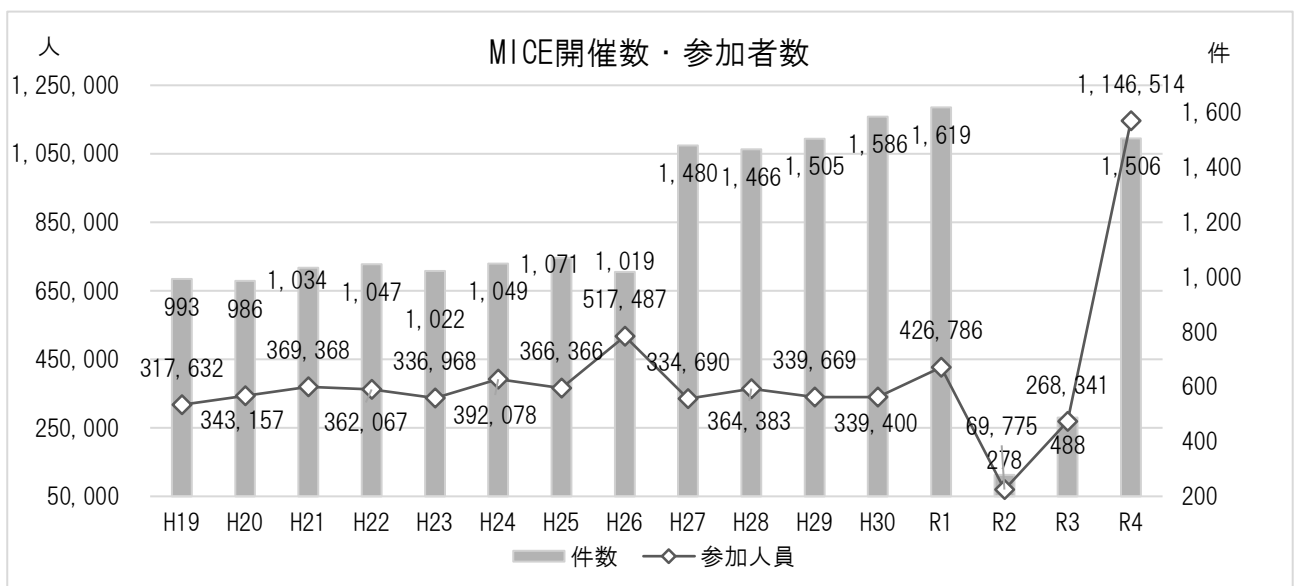
11 MICE統計

(1) 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員

【単位：件、人】

年	件数	参加人員	
		文化・学術コンベンション等	スポーツコンベンション
平成20年	986	—	—
平成21年	1,034	—	—
平成22年	1,047	—	—
平成23年	1,022	—	—
平成24年	1,049	745	304
平成25年	1,071	768	303
平成26年	1,019	797	222
平成27年	1,480	1,246	234
平成28年	1,466	1,217	249
平成29年	1,505	1,214	291
平成30年	1,586	1,323	263
令和元年	1,619	1,313	306
令和2年	278	214	64
令和3年	488	351	137
令和4年	1,506	1,257	249

図10 長崎県内以上の大会・会議の開催件数及び参加人員の推移



(2) 規模別の開催件数

① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和3年	令和4年	構成比	前年比増減	令和3年	令和4年	構成比	前年比増減
100人未満	103	685	54.5	565.0	5,291	34,221	3.5	546.8
100人以上～ 300人未満	140	335	26.6	139.3	21,563	50,744	5.3	135.3
300人以上～ 500人未満	30	80	6.4	166.7	10,539	29,559	3.1	180.5
500人以上～ 1,000人未満	38	64	5.1	68.4	26,504	41,213	4.3	55.5
1,000人以上～ 2,000人未満	32	51	4.1	59.4	41,319	69,976	7.3	69.4
2,000人以上	8	42	3.3	425.0	96,656	734,488	76.5	659.9
計	351	1,257	100.0	258.1	201,872	960,201	100.0	375.6

② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和3年	令和4年	構成比	前年比増減	令和3年	令和4年	構成比	前年比増減
100人未満	19	36	14.5	89.5	1,165	2,048	1.1	75.8
100人以上～ 300人未満	57	89	35.7	56.1	9,599	14,993	8.0	56.2
300人以上～ 500人未満	19	48	19.3	152.6	7,188	17,519	9.4	143.7
500人以上～ 1,000人未満	22	40	16.1	81.8	14,107	24,542	13.2	74.0
1,000人以上～ 2,000人未満	15	16	6.4	6.7	18,900	20,901	11.2	10.6
2,000人以上	5	20	8.0	300.0	15,510	106,310	57.1	585.4
計	137	249	100.0	81.8	66,469	186,313	100.0	180.3

(3) 大会規模別の開催件数

① 文化・学術コンベンション等

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和3年	令和4年	構成比	前年比増減	令和3年	令和4年	構成比	前年比増減
県内大会	267	1,005	80.0	276.4	153,166	703,513	73.2	359.3
九州大会	47	130	10.3	176.6	29,329	162,364	16.9	453.6
西日本大会	2	13	1.0	550.0	4,833	49,624	5.2	926.8
全国大会	32	100	8.0	212.5	14,144	40,304	4.2	185.0
国際大会	3	9	0.7	200.0	400	4,396	0.5	999.0
計	351	1,257	100.0	258.1	201,872	960,201	100.0	375.6

② スポーツコンベンション

【単位：件、人、％】

規模	件数				参加人員			
	令和3年	令和4年	構成比	前年比増減	令和3年	令和4年	構成比	前年比増減
県内大会	111	204	81.9	83.8	55,905	126,571	67.9	126.4
九州大会	24	34	13.7	41.7	8,664	16,582	8.9	91.4
西日本大会	1	3	1.2	200.0	1,300	1,400	0.8	7.7
全国大会	1	8	3.2	700.0	600	41,760	22.4	6860.0
国際大会	0	0	0.0	-	0	0	0.0	-
計	137	249	100.0	81.8	66,469	186,313	100.0	180.3

(4) 月別の開催件数及び参加人員

【単位：件、人、％】

月	件数			参加人員		
	令和3年	令和4年	構成比	令和3年	令和4年	構成比
1月	9	59	3.9	3,520	13,014	1.2
2月	6	39	2.6	1,066	6,966	0.6
3月	38	95	6.3	12,367	101,415	8.9
4月	29	109	7.2	13,046	164,465	14.3
5月	36	159	10.6	7,855	39,309	3.4
6月	63	155	10.3	19,857	41,154	3.6
7月	46	154	10.2	26,398	168,910	14.7
8月	28	90	6.1	11,358	47,283	4.1
9月	22	136	9.0	8,039	151,538	13.2
10月	42	181	12.0	18,131	138,425	12.1
11月	97	199	13.2	87,863	224,970	19.6
12月	72	130	8.6	58,841	49,065	4.3
計	488	1,506	100.0	268,341	1,146,514	100.0

12 経済波及効果

直接効果から間接2次波及効果までを合計した総合効果1,558億円が、「令和4年に長崎市を訪れた訪問客」の経済波及効果であり、長崎市を中心とした長崎県内に対して、直接効果（＝県内最終需要）941億円の約1.66倍の経済波及効果を及ぼすものと推測できる。

雇用効果をみると、就業誘発効果は全体で18,447人と推計され、産業部門別で効果が大きいの「飲食・娯楽サービス(9,591人)」、「宿泊業(2,634人)」、「商業(2,502人)」である。

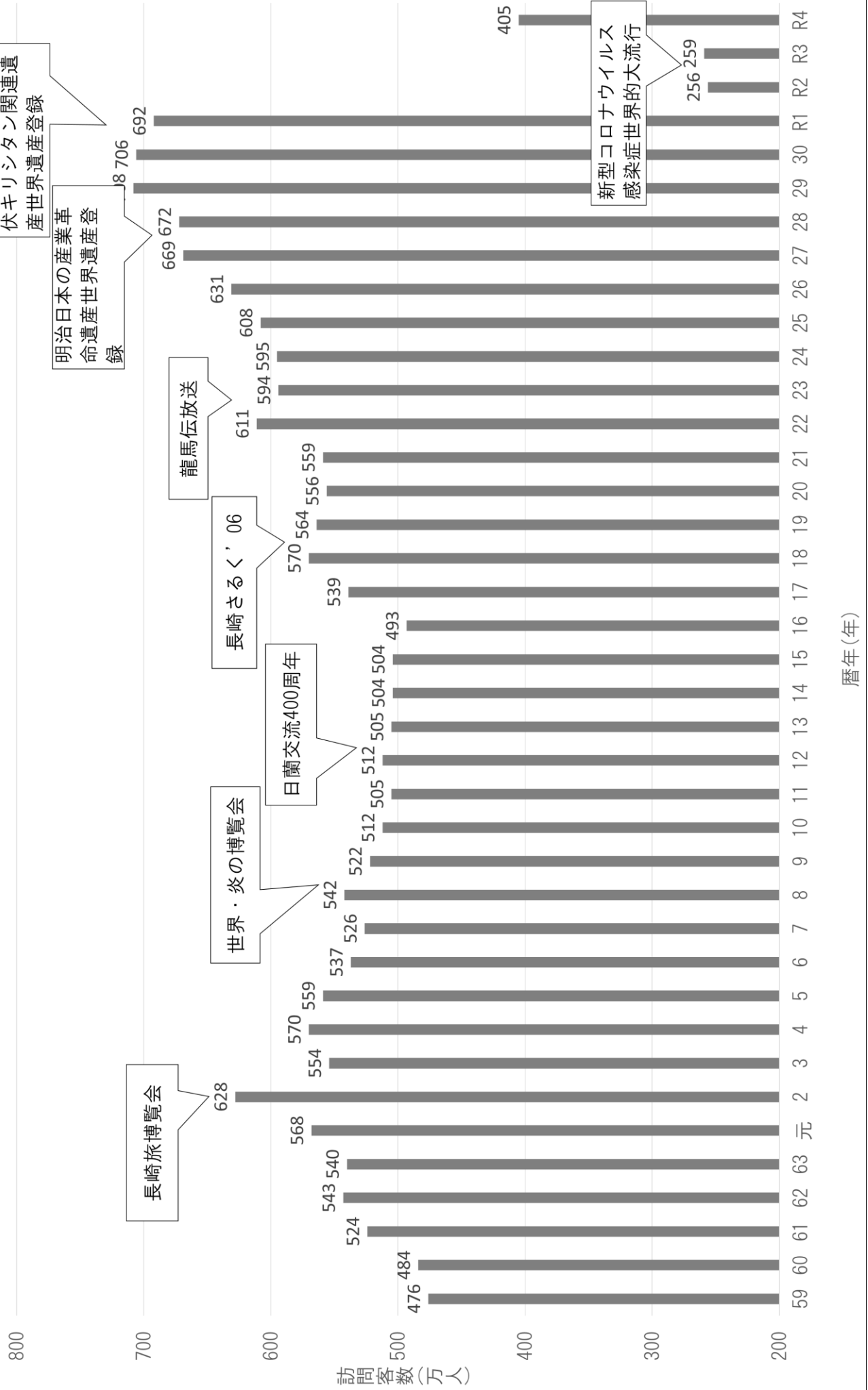
【単位：億円、人、％】

項目	令和3年	令和4年	
			前年比増減
総合効果（①+②）	907	1,558	71.8
直接効果…①	546	941	72.3
飲食・娯楽サービス	327	612	87.2
宿泊業	152	236	55.3
商業ほか	67	93	38.8
波及効果…②	360	617	71.4
間接1次波及効果	235	404	71.9
間接2次波及効果	125	213	70.4
就業誘発効果(就業者誘発数)	10,616	18,447	73.8

※四捨五入の関係により、合計が一致しない箇所がある。

参 考 资 料

1 訪問客数の推移



2 主要観光施設の入場者数

【単位：人、％】

施設名	令和2年	令和3年	令和4年	前年比増減
グラバー園	324,330	254,514	555,045	118.1
出島	213,734	179,491	364,949	103.3
原爆資料館	282,775	296,631	554,950	87.1
合計	820,839	730,636	1,474,944	101.9

※ 入場者数には無料入場者も含む。

3 主要イベントの集客数及び経済波及効果

(1) 集客数

【単位：人、％】

イベント名	令和2年	令和3年	令和4年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	560,000	中止	中止	-
長崎帆船まつり	中止	中止	中止	-
合計	560,000	-	-	-

(2) 経済波及効果

【単位：千円、％】

イベント名	令和2年	令和3年	令和4年	前年比増減
長崎ランタンフェスティバル	5,604,000	中止	中止	-
長崎帆船まつり	中止	中止	中止	-
合計	5,604,000	-	-	-

4 宿泊施設の状況

(1) 種別による部屋数及び収容人員(令和4年11月1日現在)

【単位：軒、室、人】

種別	施設数	室数				収容人員			
		和室	洋室	和洋室	計	和室	洋室	和洋室	計
ホテル	68	382	2,067	32	2,481	1,415	3,893	103	5,411
旅館	31	146	946	12	1,104	469	1,655	60	2,184
ビジネスホテル	30	205	898	49	1,152	878	1,673	278	2,829
民宿・ ペンション	26	147	348	28	523	659	584	121	1,364
ユースホテル ・ ホテル	9	23	244	2	269	69	579	5	653
公営宿泊施設 ・ 保養所	10	29	385	0	414	64	755	0	819
計	174	932	4,888	123	5,943	3,554	9,139	567	13,260

(2) 種別・規模別の宿泊施設数(令和4年11月1日現在)

【単位：軒】

種別	50人未満	50人以上	100人以上	200人以上	300人以上	400人以上	500人以上	計
		100人未満	200人未満	300人未満	400人未満	500人未満		
ホテル	37	9	7	7	5	1	2	68
旅館	20	4	1	2	1	2	1	31
ビジネスホテル	5	10	4	7	1	2	1	30
民宿・ ペンション	23	3	0	0	0	0	0	26
ユースホテル ・ ホテル	7	1	1	0	0	0	0	9
公営宿泊施設 ・ 保養所	6	1	3	0	0	0	0	10
合計	98	28	16	16	7	5	4	174

令和4年長崎市観光統計

長崎市文化観光部観光政策課

〒850-8685

長崎市魚の町4-1

電話番号 095-829-1152

FAX 番号 095-829-1232

発行：令和5年9月



長 崎 市